

# 工 事 成 績 採 点 表

検査月日  
課 名

工事番号		工事名											契約金額(最終)														
受注者名		工期					~											完成年月日									
考 査 項 目		監督職員					立会人					検査職員(出来形・中間)					検査職員(完成)										
		氏名					氏名					氏名					氏名										
項 目	細 別	a	b	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e	a	a'	b	b'	c	d	e
1.施工体制	I.施工体制一般	1	0.5	0	-5	-10																					
	II.配置技術者	3	1.5	0	-5	-10																					
2.施工状況	I.施工管理	4	2	0	-5	-10															5		2.5		0	-7.5	-15
	II.工程管理	4	2	0	-5	-10	2		1		0	-7.5	-15														
	III.安全対策	5	2.5	0	-5	-10	3		1.5		0	-7.5	-15														
	IV.対外関係	2	1	0	-2.5	-5																					
3.出来形及び出来ばえ	I.出来形	4	2	0	-2.5	-5															10	7.5	5	2.5	0	-10	-20
	II.品質	5	2.5	0	-2.5	-5															15	12	7.5	4	0	-13	-25
	III.出来ばえ																				5		2.5		0	-5	
4.工事特性	I.施工条件等への対応 ※2						0																				
5.創意工夫	I.創意工夫 ※3	0																									
6.社会性等	I.地域への貢献等						10	7.5	5	2.5	0																
加減点合計(1+2+3+4+5+6)		点					点					点					点										
評定点(65±加減点合計)※1		①					②					③					④										
評定点計		○出来形部分(中間)検査があった場合: (①) 点×0.4+②) 点×0.2③) 点×0.2④) 点×0.2) = 点 ※但し、③(出来形、中間)が2回以上の場合には平均値 ○出来形部分(中間)検査がなかった場合: (①) 点×0.4+②) 点×0.2+④) 点×0.4) = 点																									
7.法令遵守等 ※7		点					点					点					点										
評定点合計 ※8		○評定点計(					点) - 7.法令遵守等(					点) =					点										
所 見 ※5		(監督職員)										(立会人)										(検査職員)					

※1 65点 + 1.~3.の評定(加減点合計) + 4.~6.の評定(加減点合計) = 評定点 各評定点(①~④)は少数第1位まで記入する。  
 ※2 工事特性は、当該工事特有の難度の高い条件(構造粒の特殊性、特殊な技術、都市部等の作業環境・社会条件、厳しい自然・地盤条件、長期工事における安全確保等)に対して適切に対応したことを評価する項目である。評価に際しては、監督職員からの報告を受けて立会人が評価するものとする。  
 ※3 創意工夫は企業の工夫やノウハウにより特筆すべき評価内容があった場合に評価する項目である。  
 ※4 4.~6.は加点評価のみとする。また、7.法令遵守等は、減点評価のみとする。  
 ※5 所見は必要に応じ記載する。  
 ※6 各考查項目ごとの採点は、監督職員は別紙-1①~別紙-1⑦、立会人は別紙-2①~別紙-2③、検査職員は別紙-3①~別紙-3⑦によるものとし、検査職員の評価に先立ち、監督職員、立会人が記入する。  
 ※7 法令遵守等の評価は、立会人が行う。  
 ※8 評定点合計は、四捨五入により整数とする。